

第1学年〇組 社会科学習指導案

指導者 土橋 亮太

1 単元 「北アメリカ州」

2 指導観

○ 昨年、小郡市の筑後小郡 IC 隣にアメリカの外資系大型スーパーマーケットの「コストコ」がオープンすることが決まった。「コストコ」は小郡市以外にも日本各地に出店を計画しており、2030年までに店舗数が60店舗に倍増する計画である。これ以外にも子どもの身の周りには、「マクドナルド」や「スターバックス」、「apple」、「Amazon」などが生活に大きく関わっており、実生活の中でアメリカ資本とのかかわりを感じることができる。世界を見わたしてみても、アメリカ発の企業が日本同様に世界各国に進出している。その結果として、「世界の大企業ランキング上位50社（出典：companies market cap. com）」の中に、アメリカの企業が32社も入っている。このことから、アメリカの経済や文化などの影響力は世界に及んでおり、唯一の「超大国」として、私たちが住む日本はもとより、世界各地に影響をもたらし続けている。

本活動は、子どもの身のまわりに北アメリカ州とのかかわりがあるという社会的事象を基に、その要因や影響を考察することを通して、北アメリカ州の地域的特色を理解し、今後の生活や新たな学びに生かすことができるようにする活動である。この活動を通して子どもは、北アメリカ州の地域的特色を、産業を中核にして、広大な国土や資源、他地域との貿易、人々の生活に着目して考察し、理解することができる。また、アメリカの世界的な経済進出が行われている要因や効果、影響を調べる活動を通して、地理的な見方・考え方を働かせて、世界各地に経済進出をしている要因について、自分の考えを表現することができる。さらに、北アメリカ州との今後のかかわりについて考察することで、今後の世界の諸地域での学びや実生活に生かそうとすることができるので、大変意義深い。

○ 本学級の子ども（〇人）に事前調査を行った。[北アメリカ州と聞いて、どんなイメージを持つか]と問うと、「栄えている、発展している（〇人）」、「アメリカとかカナダとかがある（〇人）」などと答えた。[私たちの生活と北アメリカ州はどんな関わりがあるか]と問うと、「貿易で関わっている、貿易をたくさんしている（〇人）」、「ハンバーガーやコーラなどの食文化が広がっている（〇人）」などと答えた。[他の州にはない「北アメリカ州の強み」とは何か]と問うと、「面積や経済など規模が大きい（〇人）」、「世界への影響力が強い（〇人）」、「貿易をたくさんしている（〇人）」などと答えている一方、「わからない、知らない（〇人）」と答えた子どももいた。

以上の結果から、子どもは北アメリカ州の国名、位置、特徴などは理解していることがわかった。また、子どもの生活範囲の中で北アメリカ州とのつながりがあるという理解があることもわかった。しかし、北アメリカ州の地域的特色に関する記述的知識は理解している一方、なぜつながりがあるのか、なぜ影響力が強いのかの要因や、アメリカが他国へ与える経済的、文化的な影響の理解は十分には至っていないことがわかった。

○ そこで本活動では、北アメリカ州の地域的特色を、北アメリカ州の産業や貿易の特色を、広大な国土や資源、他地域との貿易、人々の生活に着目して理解し、今後の生活や新たな学びに生かそうとする態度を高めることができるようにすることをねらいとする。まず、北アメリカ州の学習に対する関心をもつことができるように、身近な地域における事象から、北アメリカ州との関連を見いだす活動を設け、アメリカ資本の進出、国内での拡大に関する「なぜ」疑問を共有し、課題を考える活動を設定する。次に、アメリカの産業や貿易の特色を、広大な国土や資源、他地域との貿易、人々の生活に着目して理解し、北アメリカ州の地域的特色を考えることができるように、アメリカの概要を調べ、アメリカと北アメリカ州との関係性や、アメリカと世界との関係性について考える活動を設定する。さらに、北アメリカ州と生活とのかかわりについての自己の考えを更新することができるように、アメリカの世界における立ち位置について集団で自他の考えを交流する活動を設定する。最後に、今後の生活や新たな学びに生かそうとする態度を高めることができるように、課題に対する自他の考えを交流し、最終的な自分の考えを表す活動を設定する。

3 目標

- 環境条件や他地域との結びつき、人間の営みの視点に着目して、北アメリカ州の地域的特色を理解するとともに、気候や農業の主題図や生産、輸出を示した表を読みとり、まとめている。
- 北アメリカの地域的特色を考える活動において、他と比べた北アメリカ州の一般的共通性と地方的特殊性の視点に着目して考えることができる。
- 今後のアメリカとのかかわりについて考察し、「日本の未来予想図」を更新する活動を通して、学んだことを今後の生活や新たな学びに生かそうとしている。

4 計画 (6時間)

次	時	学習活動・内容	指導上の留意点
本時 (1/1)	一	<p>1 北アメリカ州の学習に対する見通しをもつ。</p> <p>① (1) 身近な地域における事象から、北アメリカとの関連を見だし、学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑後小郡 IC 隣にコストコがオープンすること ・コストコ以外にも、数多くのアメリカ資本が身のまわりに広がり、国内外に規模拡大していること <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>パフォーマンス課題：世界におけるアメリカの立ち位置について現状 (要因や特色) を分析し、今後もその立場は変わらないのか、自分たちの生活と関連づけたレポートを作成しなさい。</p> </div> <p>(3) 課題解決のための探究計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説、着目する視点、調査する内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州の学習に対する関心をもつことができるように、身近な地域における事象から、北アメリカとの関連を見だす活動を設け、アメリカ資本の進出、国内での拡大に関する「なぜ」疑問を共有し、課題を考える活動を設定する。 ・北アメリカ州の学習に対する見通しをもつことができるように、探究計画を立てる活動を設定する。
	二	<p>1 2 アメリカの実態と自分たちの生活とのつながりについて調べる。</p> <p>③ (1) アメリカの概要について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に合わせた産業や生活を行なっていること ・適地適作、コーンベルト、小麦地帯、大陸横断鉄道 ・自動車工業地帯、サンベルト、シリコンバレー <p>(2) アメリカと北アメリカ州との関係性を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ3国 (カナダ、アメリカ、メキシコ) の貿易関係 ・北アメリカ州はアメリカが中心であること ・USMCAを結成し、自国の産業を整備すること <p>(3) アメリカと世界との関係性について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・州別の貿易額と主な内訳の違い ・他地域と比較したアメリカの一般的共通性と地方的特殊性 <p>2 3 調査活動に対する評価を行う。</p> <p>① (1) 課題解決の達成度を評価し、立てた探究計画を再度吟味し、再調査活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究計画の評価、探究計画の吟味 ・他との比較 (進捗状況、課題に対する意見交流) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの産業や貿易の特色を、広大な国土や資源、他地域との貿易、人々の生活に着目して理解することができるように、アメリカの概要について調べる活動を設定する。その際、アメリカの自然環境や人口、産業を示した主題図を準備し、特色をまとめることができるような白地図を提示する。 ・北アメリカ州の地域的特色を考えることができるように、アメリカと北アメリカ州との関係性を調べたり、アメリカと世界との関係性について考えたりする活動を設定する。その際、北アメリカ州3国 (アメリカ、カナダ、メキシコ) の三角貿易図や世界各国との貿易の相関関係を示した主題図 (貿易額、貿易品など)、州別の多国籍企業の企業数の資料を準備する。 ・自己の課題解決の度合いを理解することができるように、解決の達成度を評価し、立てた探究計画を再度吟味し、再調査活動を行う活動を設定する。
三	<p>1 4 課題に対する自己の考えをつくる。</p> <p>① (1) 今後のアメリカの世界における立ち位置についてレポートを作成し、考えたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もアメリカが世界の中でも強大な超大国として、世界をリードし続けると思う。 ・アメリカ以上に中国、インドが発展をして、世界の先頭をたつと思う。 <p>(2) 北アメリカ州の探究を通して考えた「アメリカの今後」を更新する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の生活や新たな学びにどう生かすか 	<ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州と生活とのかかわりについての自己の考えを更新することができるように、アメリカの世界における立ち位置について集団で自他の考えを交流する活動を設定する。 ・今後の生活や新たな学びに生かそうとする態度を高めることができるように、課題に対する自他の考えを交流し、最終的な自分の考えを表す活動を設定する。 	

5 本時 1年〇組教室

(1) 本時の指導観

前時までに子どもは、距離的、経済的なかかわりの視点に着目して、アジア州、オセアニア州の学習を行っている。そこで本時では、北アメリカ州を学ぶ意義について考え、学習の全体像を把握し、次時以降の課題の解決の見通しをもつことができるようにすることをねらう。そのためにまず、北アメリカ州の学習に対する関心をもつことができるように、身近な地域にコストコが進出するという事象から、北アメリカ州との関連を見いだす活動を設定する。次に、北アメリカ州の企業が進出し、経済的な影響を受ける今後の日本や世界への影響について考えることができるように、「なぜ」疑問を共有し、その予想を交流する活動を設定する。さらに、北アメリカ州を学ぶ意義について考え、北アメリカ州の学習の全体像を把握することができるように、自己の北アメリカ州の認知に関する現状を基に、ルーブリックを作成し、その内容をもとにパフォーマンス課題を設定し、探究計画をたてる活動を設定する。最後に、次時以降の課題解決の見通しをもち、学びを自分で調整することができるように、本時の振り返りと次時にやることをまとめる活動を設定する。

(2) 主眼

北アメリカ州を学ぶ意義について考え、学習の全体像を把握し、次時以降の課題解決の見通しをもつことができるようにする。

(3) 過程

学習活動・内容	手だての内容・方法・留意点	形態	配時
<p>1 本時内容を確認する。</p> <p>(1) 身近な地域における事象から、北アメリカ州との関連を見いだす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小郡にコストコが開店予定であり、2030年までに店舗数を倍増する計画があること ・多くのアメリカ資本が国内外で規模を拡大していること ・「世界の企業ランキング上位50社」の中に、アメリカの企業が34社も入っていること(約30年前は1社だった) <p>(2) めあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> アメリカの世界への影響の広がりから、北アメリカを学習するための計画をたてよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州の学習に対する関心をもつことができるように、身近な地域にコストコが進出するという事象から、北アメリカ州との関連を見いだす活動を設定する。 ・学習の方向性を明らかにすることができるように、めあてを設定する。 	個 ／ 学級 集団	13
<p>2 北アメリカ州の学習に関する探究計画をたてる。</p> <p>(1) 生じた「なぜ」疑問を共有し、その予想を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、アメリカの影響が日本で広がるようになったのか ・なぜ、アメリカ資本が世界で拡大できているのか ・なぜ、日本の資本が世界で上位だったのに、アメリカ資本が上位になったのか <p>(2) 自己の北アメリカ州の認知に関する現状を基に、ルーブリックを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州の学習を終えた後の自己の姿 ・今後の社会におけるアメリカの影響の変容の有無 <p>(3) パフォーマンス課題を設定し、探究計画をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習後の姿を実現するための課題設定(パフォーマンス課題の設定) ・着目する視点、調査する内容の設定(探究計画) ・環境条件、他地域との結びつき、人々の営みからの探究 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> パフォーマンス課題：なぜアメリカの影響が世界中に広がっているのか、そして今後もその立場は変わらないのかを考え、自分たちの生活と関連づけたレポートを作成する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州の企業が進出し、経済的な影響を受ける今後の日本や世界への影響について考えることができるように、「なぜ」疑問を共有し、その予想を交流する活動を設定する。 ・北アメリカ州を学ぶ意義について考えることができるように、自己の北アメリカ州の認知に関する現状を基に、ルーブリックを作成する活動を設定する。 ・北アメリカ州の学習の全体像を把握することができるように、パフォーマンス課題を設定し、探究計画をたてる活動を設定する。 	個 ／ 小 集団 ／ 学 級 集 団	30
<p>3 本時学習の振り返りを行う。</p> <p>(1) 本時の振り返りと次時にやることをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界にアメリカの影響が大きく広がっているということ ・次時の授業で調べる内容(主に環境条件からの探究) 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時以降の課題解決の見通しをもち、学びを自分で調整することができるように、本時の振り返りと次時にやることをまとめる活動を設定する。 	個	7

本時の見どころ

1 身近な地域にコストコが進出するという事象から、北アメリカ州との関連を見いだす活動（1（1）の活動）

- 【具体的内容】・小郡にコストコが開店予定であり、2030年までに店舗数を倍増する計画があるという資料の提示
- ・「マクドナルド」や「スターバックス」、「apple」、「Amazon」など、多くのアメリカ資本が国内外で規模を拡大している資料の提示
 - ・アメリカの企業が34社入っている「世界の大企業ランキング上位50社」の提示
(ちなみに、30年前の1988年は日本企業が32社ランクインしている)
- これにより、経済活動が盛んで、その規模が日本国内外におよんでいる北アメリカ州の学習に対する関心をもつことができると考える。

2 「なぜ」疑問を共有し、その予想を交流する活動（2（1）の活動）

- 【具体的内容】・1で子どもたちが北アメリカ州の実態で感じたことや疑問に思ったこと（「なぜ」疑問）やその予想を考え、全体で共有する活動
- これにより、北アメリカ州の企業が日本国内外に進出し、経済的な影響を受ける今後の日本や世界への影響に着目した課題の設定ができると考える。

3 自己の北アメリカ州の認知に関する現状を踏まえた、ルーブリックを作成する活動（2（2）の活動）

- 【具体的内容】・活動前の現状を基に、活動後の自分自身の姿を予想し、A、B、C（現状）の3段階で設定する活動（ルーブリックの設定）
- (そのための視点として、①北アメリカ州の学習を終えた後の自己の姿を想起すること、②今後の社会におけるアメリカの影響の変容の有無に着目すること、の2つを条件として提示する)
- これにより、北アメリカ州を学ぶ意義について考えることができると考える。

4 パフォーマンス課題を設定し、探究計画をたてる活動（2（3）の活動）

- 【具体的内容】・学習後の姿を実現するための課題設定（パフォーマンス課題の設定）
- ・課題を解決するために、調査する際の着目する視点（明らかにすること）、調査する内容（何を調べるか）を考える活動（探究計画）
 - ・環境条件、他地域との結びつき、人々の営みからの探究
- これにより、北アメリカ州の学習の全体像を把握することができると考える。

5 本時の振り返りと次時にやることをまとめる活動

- 【具体的内容】・1単元を通して、たてた4を実行するために、1時間の授業で、「何ができたのか」、「何ができなかったのか」、「次行うことは何か」を考え、文章でまとめる活動
- ・次時の授業で調べる内容の検討（主に環境条件からの探究）
- これにより、次時以降の課題の解決の見通しをもち、学びを自分で調整することができると考える。

※ は主眼達成のための手立て